

BlueDVの使い方

2017年2月6日 (V1.2)

JR10FP

1. BlueDVとは

オランダのPA7LIM Davidさんが開発した Bluetooth機能を使った D-Starノード局用ソフトウェア

[BlueDVの特徴]

- (1) 少ない設定項目で簡単に使える。
- (2) 不安定なネットワーク環境でも使える。
切れても自動的に再接続する。
- (3) 立ち上げ時間が短い。
ラズパイ: 約2分、BlueDV: 約10秒
- (4) 消費電力が小さい。―― 5V 0.1A以下
単三電池2本で約8時間使える。
- (5) ソフトウェアは開発中で、各種要望に対応してもらえる。(現在約1回/月バージョンアップ)
- (6) C4FMに対応
FT1DやFT2Dを使い FUSIONリフレクタにアクセスできる。



Davidさん
(BlueDV
開発者)

Guusさん
(DVMEGA
開発者)

Ruudさん
(BlueStack
Micro+
開発者)

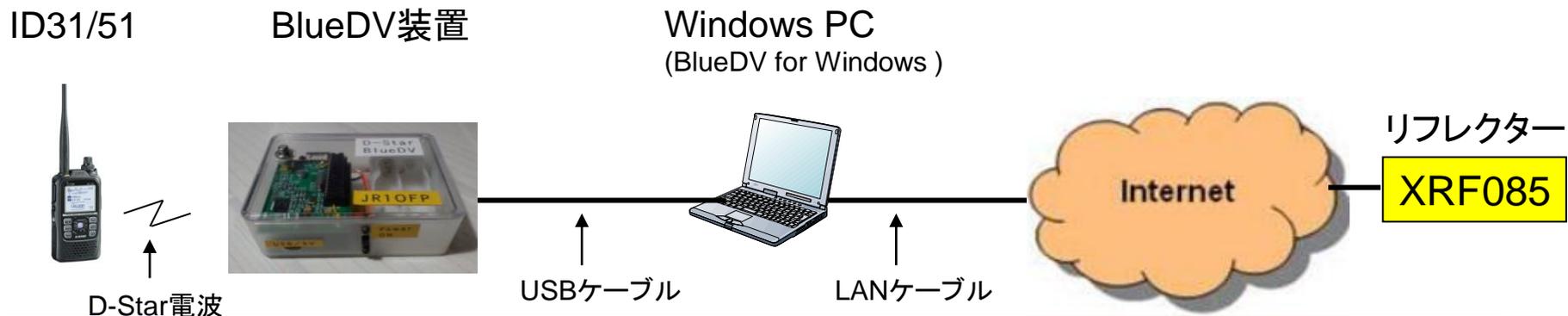
(<http://www.pa7lim.nl/> より)

2. BlueDVを使った運用方法

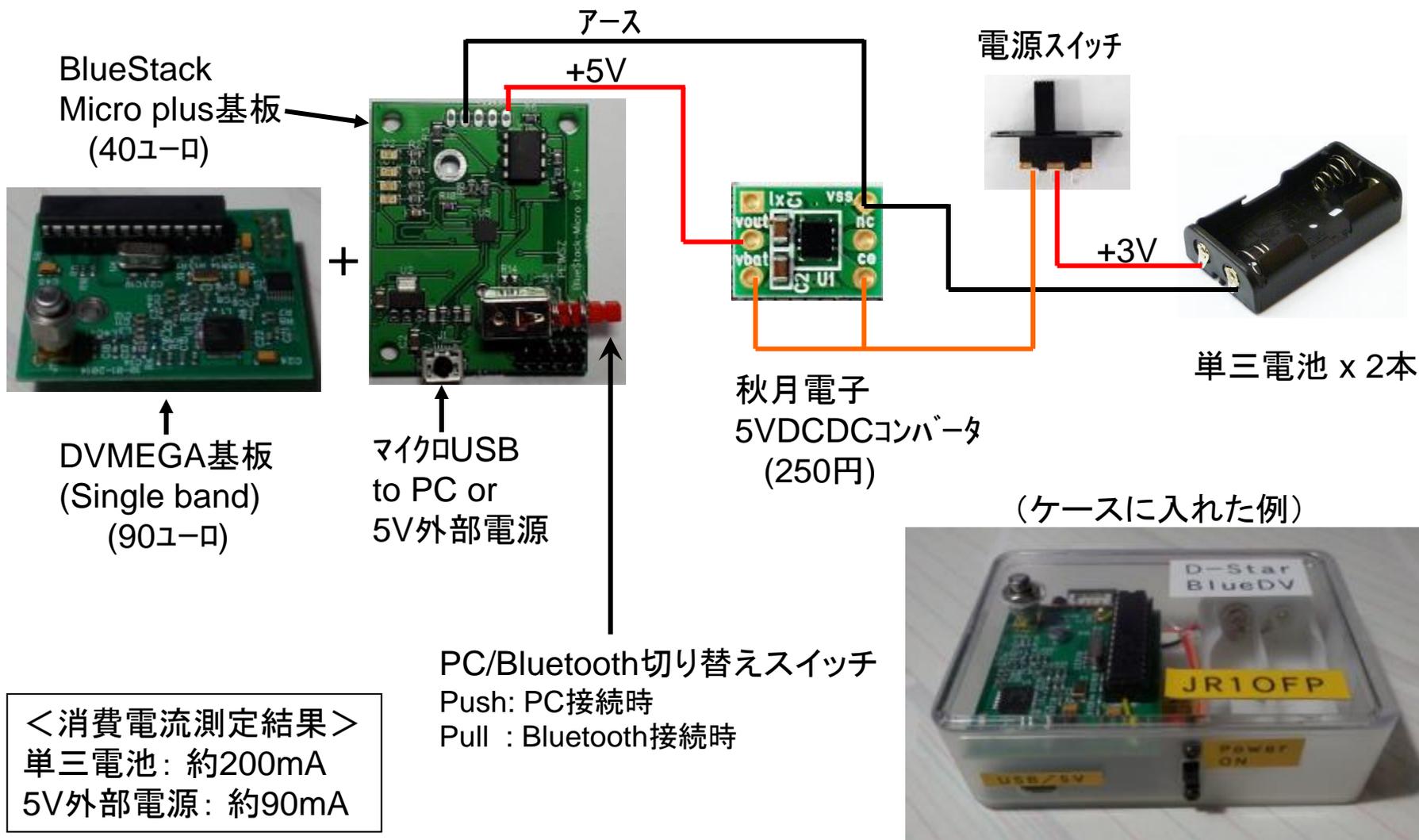
(1) モバイル運用 (Bluetooth接続)



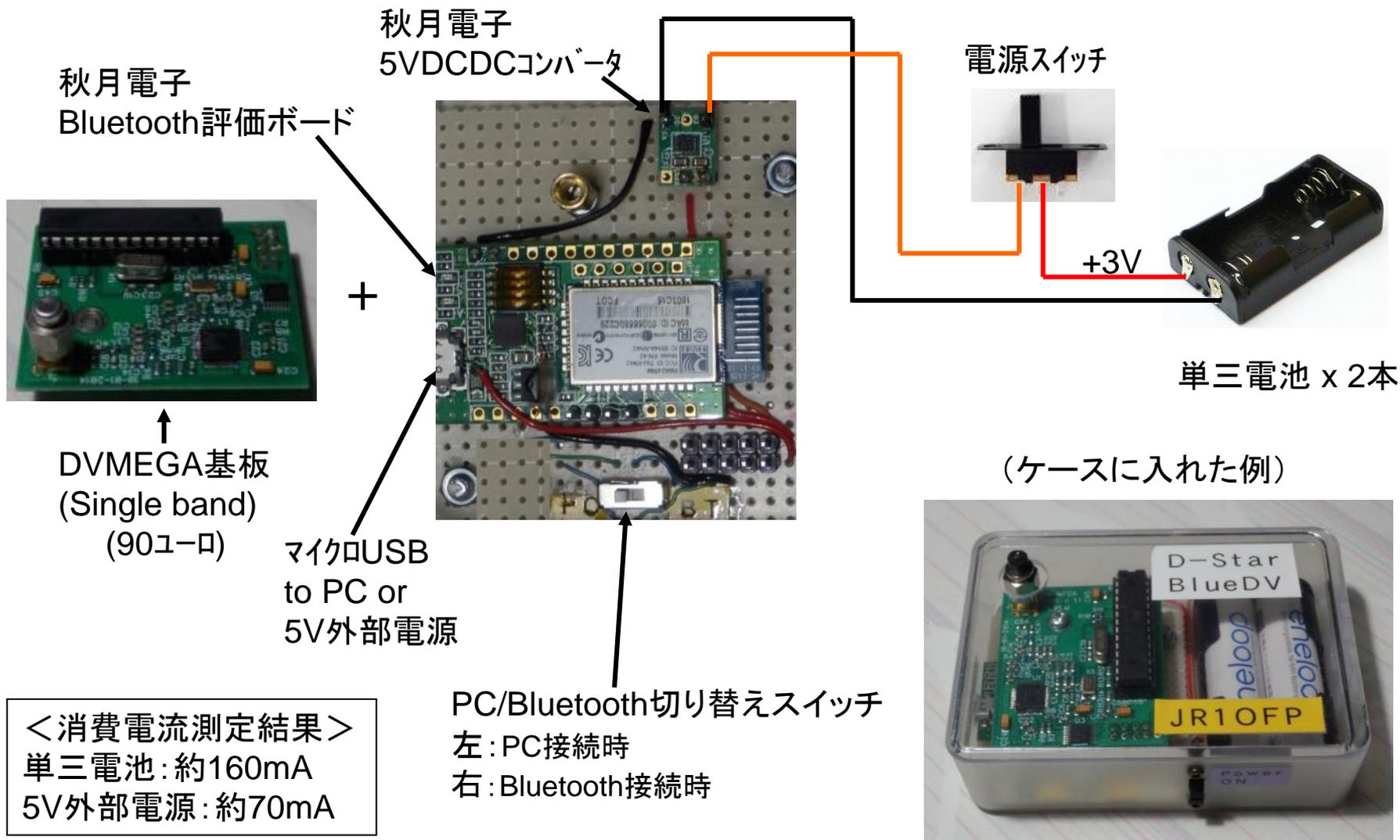
(2) BlueDV for Windowsを使った運用 (PC接続)



3. BlueDV装置の構成方法（構成例1）

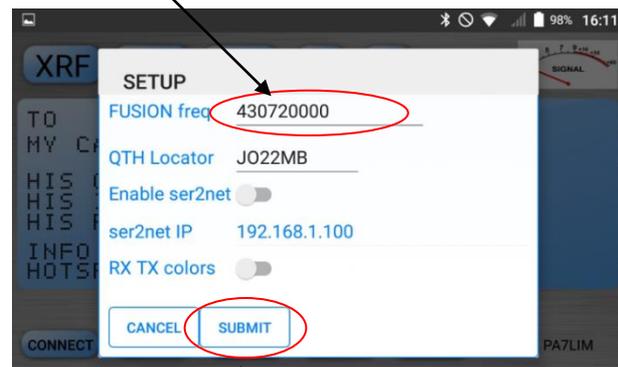
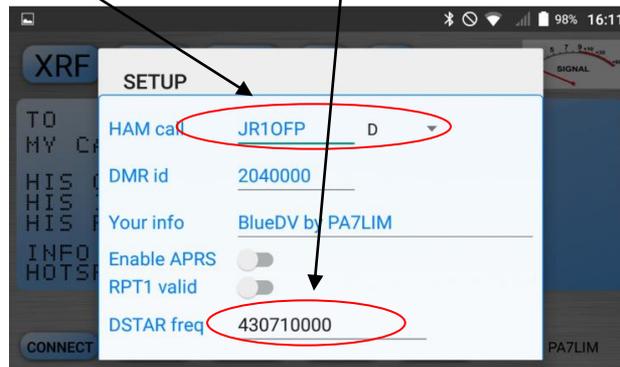
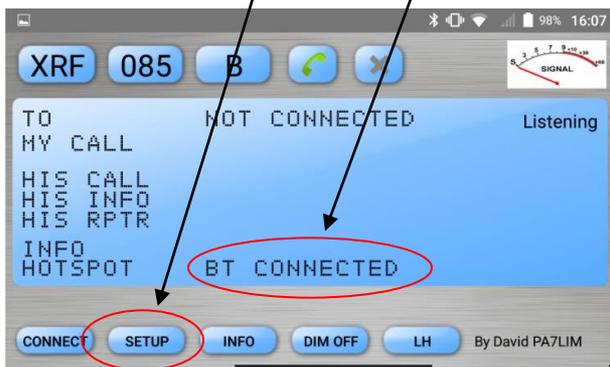


3. BlueDV装置の構成方法 (構成例2)



4. BlueDVの使い方（Bluetooth接続）（1）

- (1) PC/Bluetooth切り替え SWを Bluetooth接続状態にする。
- (2) 単三電池2本を入れ、電源SWをONの位置にする。
- (3) スマホのBluetoothを有効にする。
- (4) BlueStackとペア設定する。パスワード“1234” --- (初回のみ)
- (5) スマホでBlueDVアプリをインストールする。(初回のみ)
- (6) BlueDVアプリを起動する。
- (7) “BT CONNECTED” 状態になっていることを確認する。
- (8) SETUPを押し、Call sign, DSTAR周波数、FUSION周波数を設定する。



(9) SUBMITを押す。

4. BlueDVの使い方（Bluetooth接続）（2）

(10) 接続したいリフレクターとモジュールを選択し、電話機マークを押す。



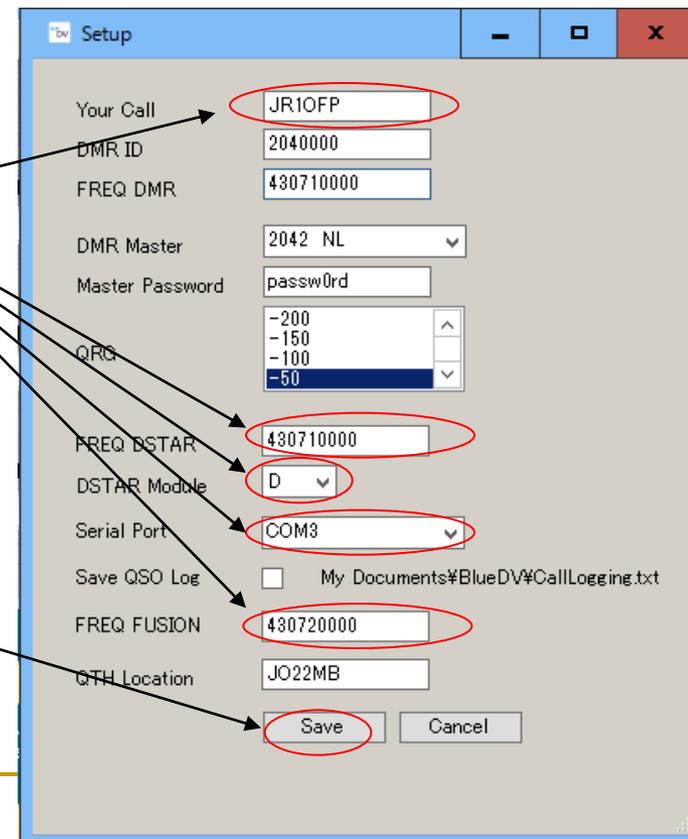
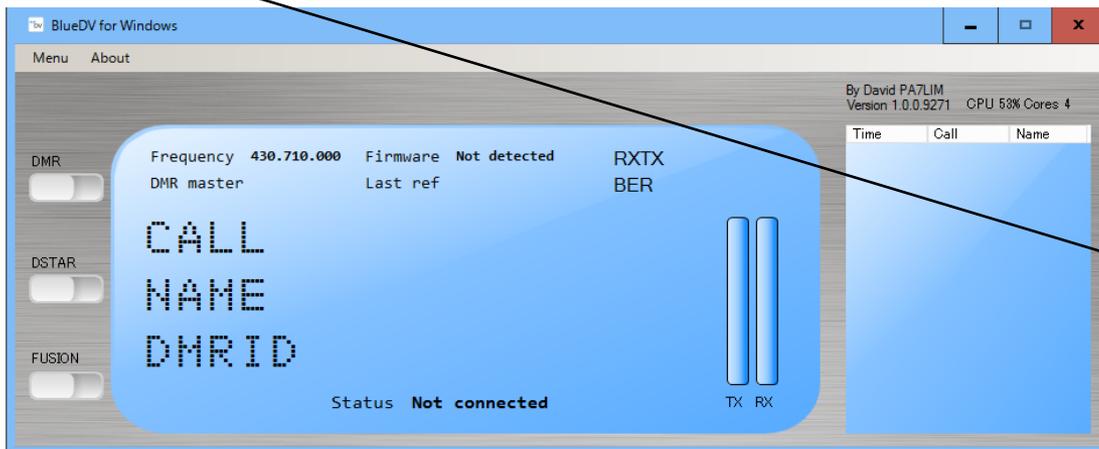
(XRF085 Bと接続中)



(FUSION FCS001 21と接続中)

5. BlueDV for Windowsの使い方 (PC接続) (1)

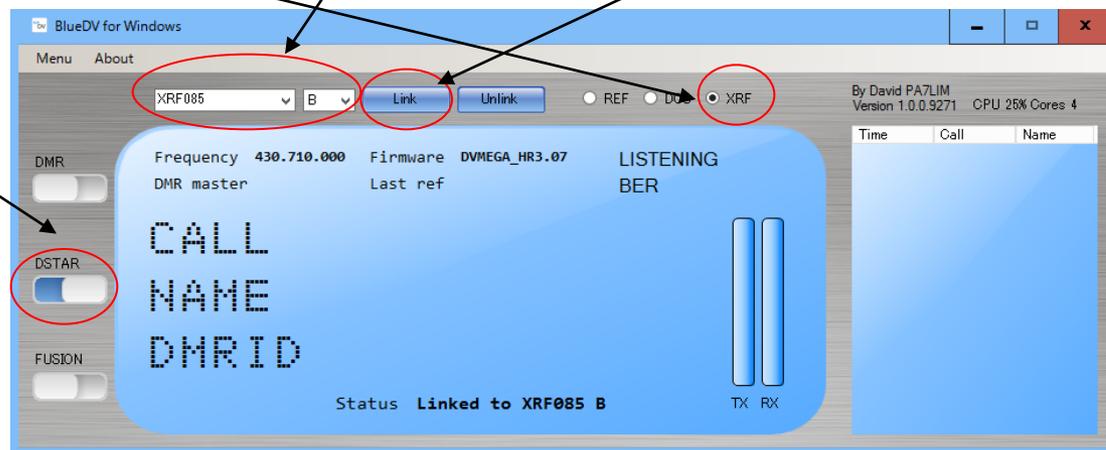
- (1) PC/Bluetooth切り替えSWをPC接続状態にする。
- (2) PCとBlueDV装置をUSBデータケーブルで接続する。
(充電専用ケーブルは使えません)
- (3) 単三電池は不要です。電源SWはOFFの位置にする。
- (4) PCのデバイスマネージャーでBlueDV装置に割り付けられたCOM番号を調べる。
- (5) BlueDV for Windows プログラムを起動する。
- (6) Menu => Setupで右項目を設定する。
(初回のみ)
- (7) Saveを押す。



5. BlueDV for Windowsの使い方 (PC接続) (2)

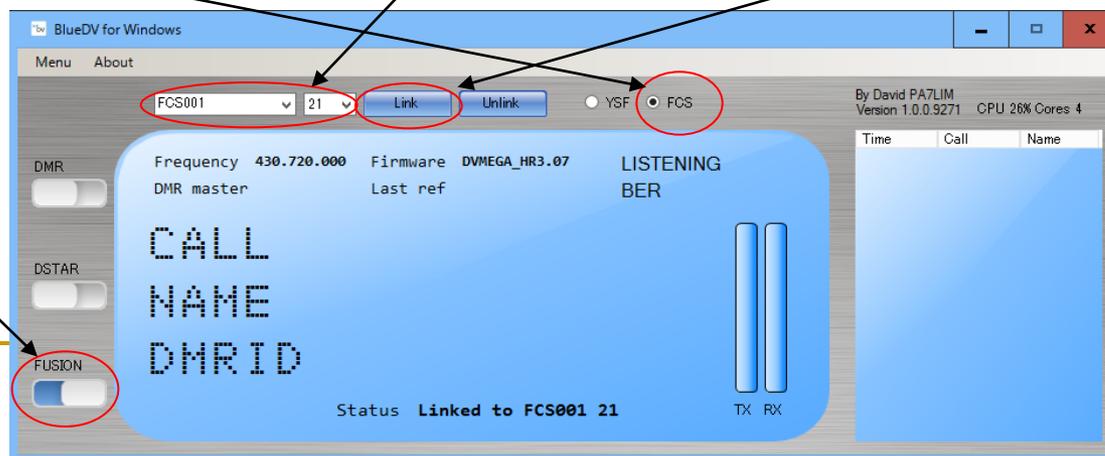
(8) DSTARリフレクターに接続する方法

DSTARを選択 => XRFを選択 => XRF085 Bを選択 => Linkボタンを押す。



(9) FUSIONリフレクターに接続する方法

FUSIONを選択 => FCSを選択 => FCS001 21を選択 => Linkボタンを押す。



(変更履歴)

2016/12/5 V1.0 初版

2017/ 2/6 V1.1 3項の構成例2スライド追加 (秋月Bluetooth評価ボード使用)

